

公共プロジェクト提案書（令和7年度予算事業）

令和6年 月 日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住 所
氏 名
連絡先

みんなのまちづくり施策（公共プロジェクト部門）について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	笑いヨガ講座							
2 美瑛町共有ビジョンとの関連性	提案する事業は、どの「美瑛町共有ビジョン」を実現するものですか（複数選択可能） <input type="checkbox"/> 豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち <input type="checkbox"/> 誰もが自分の可能性をのばせるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが健康で共に支え合い、安心して住み続けられるまち <input type="checkbox"/> ライフラインが確保され、災害にまけない強さとしなやかさを備えるまち <input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち <input type="checkbox"/> 子どもの個性を育み、全力で応援するまち <input type="checkbox"/> すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち							
3 地域の課題／事業の目的	① どのような課題を解決する事業か、日々の困りごとの具体例やエピソードを交え記入してください 子どもたちは一日に400回笑うのに対し、大人は約10回から15回しか笑わないそうです。それは、大人たちが認識能力を使って、ユーモアを理解してから笑うという笑い方をしているからで、大人になれば、致し方がない部分でもあります。 しかし、我々人間が、日々、食物を口にすることを必要とするように、我々人間の精神（心）にとっては、笑いは欠くことのできないものです。従って、心を健康に保つためには、笑いが必要なので、ぜひ、多くの方に笑いの重要性を知っていただきたく、この笑いヨガを提案します。 ② 上記が「美瑛町の地域課題」であると感じられる理由は何ですか？ 地域のお年寄りに対して、2回ほど、実施してみたところ、その後、お会いした際には、「楽しかった」という言葉と共に、みなさん笑顔になっている様子を見たから。 また、上記は、お年寄りだけでなく、広く、大人一般や子どもが精神の健康を保つためにも、「笑いヨガ」を通して、体をゆるめ、心と体の健康を保つことにつながるから。							
4 事業の内容 （事業の対象者、実施期間、実施場所などできるだけ詳細に記入してください。）	① 事業の対象者（どこに住む、どんな世代の、誰に向けた事業ですか？） <input type="checkbox"/> 病院で入院していて笑うことができる方、介護されている方。 <input type="checkbox"/> 忙しく働いている方 <input type="checkbox"/> 子どもたち（幼稚園児、小学生、中学生、高校生等） ② 実施する場所 <input type="checkbox"/> 病院や介護施設のフリースペース <input type="checkbox"/> 町民センター <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園、学校等 ③ 実施期間 <input type="checkbox"/> 週に1回程度（1時間）を継続的に実施 ④ 課題の解決に向けて、どのような役割や協力体制が考えられますか？ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:33%; text-align: left;">＜行政＞</th> <th style="width:33%; text-align: left;">＜町民＞</th> <th style="width:33%; text-align: left;">＜その他＞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input type="checkbox"/>予算をつけていただく <input type="checkbox"/>場所の提供 </td> <td> <input type="checkbox"/>笑いの価値に気づき、日常的に笑うクラブに参加し、心や体の健康を手にいれることができる。 </td> <td> <input type="checkbox"/>知り合いも紹介可能。「笑いヨガ」のティーチャアの資格を自らも取得していますので、各場所で講座実施可能です。 </td> </tr> </tbody> </table>		＜行政＞	＜町民＞	＜その他＞	<input type="checkbox"/> 予算をつけていただく <input type="checkbox"/> 場所の提供	<input type="checkbox"/> 笑いの価値に気づき、日常的に笑うクラブに参加し、心や体の健康を手にいれることができる。	<input type="checkbox"/> 知り合いも紹介可能。「笑いヨガ」のティーチャアの資格を自らも取得していますので、各場所で講座実施可能です。
＜行政＞	＜町民＞	＜その他＞						
<input type="checkbox"/> 予算をつけていただく <input type="checkbox"/> 場所の提供	<input type="checkbox"/> 笑いの価値に気づき、日常的に笑うクラブに参加し、心や体の健康を手にいれることができる。	<input type="checkbox"/> 知り合いも紹介可能。「笑いヨガ」のティーチャアの資格を自らも取得していますので、各場所で講座実施可能です。						
5 事業の効果・将来像	事業の実施によって、まちがどのように変化するか、どんな未来につながるのかを教えてください。 <input type="checkbox"/> 心の健康はもとより、医療費の軽減や痛みの軽減につながり笑顔が増えます。							

○笑いのあふれる町になります。

※補足資料（収支予算書、写真、他自治体の事例、パンフレットなど）があれば添付してください。

「笑いヨガ」は、「笑いのエクササイズ」とヨガの呼吸法を組み合わせたものです。1995年にインドの内科医「マダン・カタリア」氏により始められ、今では世界120カ国で広まっています。笑いの効果は、科学的にも実証されており、病院や介護施設等で「笑いヨガ」を取り入れたことで、治療効果があがり、身体機能が高まった事例もたくさんあります。ガンの末期患者が、笑いヨガに地道に取り組んだことで、劇的な回復を見せたという報告もたくさんあります。

「笑いヨガ」発祥のインドでは、子どもから大人まで、気軽に取り組むアクティビティとなっていて、笑うことで健康な心と体を保持できます。ただ、笑うだけなので、誰にでも取り組めるアクティビティです。

講師料は、人数等にもよりますが、1時間10000円位です。

公共プロジェクト提案書（令和7年度予算事業）

令和6年 月 日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名
連絡先

みんなのまちづくり施策（公共プロジェクト部門）について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	ジブリッシュ（感情マネジメント）講座	
2 美瑛町共有ビジョンとの関連性	提案する事業は、どの「美瑛町共有ビジョン」を実現するものですか（複数選択可能） <input type="checkbox"/> 豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち <input type="checkbox"/> 誰もが自分の可能性をのばせるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが健康で共に支え合い、安心して住み続けられるまち <input type="checkbox"/> ライフラインが確保され、災害にまけない強さとしなやかさを備えるまち <input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち <input type="checkbox"/> 子どもの個性を育み、全力で応援するまち <input type="checkbox"/> すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち	
3 地域の課題／事業の目的	① どのような課題を解決する事業か、日々の困りごとの具体例やエピソードを交え記入してください <p>日常的にストレスがあふれている昨今、世界的にマインドフルネスの時代と言われています。ですが、そのストレスから意識的に離れ、自分を健康にする方法は、案外知られていません。我々、人間の精神にとっては、感情を解放し心穏やかな状態になれる方法を見つけ、ストレスフリーになれることを目指して、このジブリッシュ講座（感情マネジメント講座）を提案します。</p>	
	② 上記が「美瑛町の地域課題」であると感じられる理由は何ですか？ <p>日頃の多忙感に追われている方々が、日頃とらわれている感情から自由になることを手に入れ、心と体を健康に保つことが重要と感じられるので。</p>	
4 事業の内容 （事業の対象者、実施期間、実施場所などできるだけ詳細に記入してください。）	① 事業の対象者（どこに住む、どんな世代の、誰に向けた事業ですか？） <input type="checkbox"/> 忙しく仕事に追われている人々。 <input type="checkbox"/> 特に、介護職等ストレスがある仕事の方々。 <input type="checkbox"/> 子どもたち（小学生、中学生、高校生）	
	② 実施する場所 <input type="checkbox"/> 町民センター <input type="checkbox"/> 学校等	
	③ 実施期間 <input type="checkbox"/> 講座を聞き、体感することで、ストレスフリーのきっかけを得る。	
	④ 課題の解決に向けて、どのような役割や協力体制が考えられますか？	
	<行政> <input type="checkbox"/> 予算をつけていただく <input type="checkbox"/> 場所の提供	<町民> <input type="checkbox"/> ジブリッシュ（感情マネジメント）の価値に気づき、日常的に実践するために、講座を受講し体感する。
	<その他> <input type="checkbox"/> 知り合いの講師を紹介可能。「ジブリッシュ」のインストラクターの資格を自らも取得予定です。	
5 事業の効果・将来像	事業の実施によって、まちがどのように変化するか、どんな未来につながるのかを教えてください。 <input type="checkbox"/> 心の健康はもとより、ストレスから離職してしまう人々の軽減につながります。 <input type="checkbox"/> 笑顔のあふれる町になります。	

※補足資料（収支予算書、写真、他自治体の事例、パンフレットなど）があれば添付してください。

感情を吐き出すことは、我々の日常生活において、とても必要なことです。日常的なストレスはもちろん、大きな悲しみや深刻な問題を前にして、感情を表現できなくなってしまうことが、多くの方々に見られます。それが高じていくと、発症してしまうのが「うつ病」です。それを阻止する簡単な方法として挙げられるのが、感情を吐露する「ジブリッシュ」です。ジブリッシュとは、意味のないでたらめな言葉ですが、その言葉を発することで、頭の中に渦巻いている思考が停止し、頭がすっきりし、ストレスフリーの状態にもっていくことができると言われています。

世界でそのジブリッシュは、その価値が認められていますが、日本で第一人者の大久保信克氏をお呼びし、その理屈から学び、心の健康を保ち、離職を防ぐことで、貴重な人材の流出を防ぐことができます。

大久保信克氏をよんで講座を開くための必要経費

※人数にもよりますが、10人程度のグループの人数に対して

2日間（8時間×2日間）で、講師料30万円

宿泊費 20,000円×2回（前泊等必要）

交通費 92,000円（京都～旭川の往復）

公共プロジェクト提案書（令和7年度予算事業）

令和6年 月 日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住 所
氏 名
連絡先

みんなのまちづくり施策（公共プロジェクト部門）について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	ZEN呼吸法講座						
2 美瑛町共有ビジョンとの関連性	提案する事業は、どの「美瑛町共有ビジョン」を実現するものですか（複数選択可能） <input type="checkbox"/> 豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち <input type="checkbox"/> 誰もが自分の可能性をのばせるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが健康で共に支え合い、安心して住み続けられるまち <input type="checkbox"/> ライフラインが確保され、災害にまけない強さとしなやかさを備えるまち <input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち <input type="checkbox"/> 子どもの個性を育み、全力で応援するまち <input type="checkbox"/> すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち						
3 地域の課題／事業の目的	① どのような課題を解決する事業か、日々の困りごとの具体例やエピソードを交え記入してください 日常的にストレスがあふれている昨今、世界的にマインドフルネスの時代と言われています。ですが、そのストレスから意識的に離れ、自分を健康にする方法は、案外知られていません。我々、人間の体は、呼吸に目を向け、しっかりと体に酸素を取り込むことが必要です。病気になってしまう多くの場合、体の細胞が酸欠状態になっていることがよく指摘されています。呼吸が楽にできる姿勢を身に付け、酸素を体いっぱいに取り入れることのできる方法を身に付け、心の健康も手に入れることができます。 ▲アレルギーや頭痛等、体調不良を抱えている人が多い。 ▲胸式呼吸になりがちな人は、睡眠にも悩みを抱えている人が多い。 ○当たり前に行われている呼吸だからこそ、今一度、見直して、正しい姿勢で腹式呼吸ができるようにすることで、「いつもエネルギーに満ちあふれ、酸素がたくさんある状態で、元気がいっぱい」という体を、手に入れることができます。 日常的に健康な人はもちろん、ガンなどで苦しんでいる方も取り組むことで、快方に向かうことが最近、話題になっています。						
	② 上記が「美瑛町の地域課題」であると感じられる理由は何ですか？ 日頃の多忙感に追われている方々が、姿勢を正し呼吸に焦点を合わせてみることで、心と体が健康になることを感じることができるので。						
4 事業の内容 （事業の対象者、実施期間、実施場所などできるだけ詳細に記入してください。）	① 事業の対象者（どこに住む、どんな世代の、誰に向けた事業ですか？） <input type="checkbox"/> 疲れを感じている人々。 <input type="checkbox"/> 特に、アレルギーやガンなど体の不調で苦しんでいる方々。 <input type="checkbox"/> 健康な方々（健康増進のために） <input type="checkbox"/> 子どもたち（小学生、中学生、高校生）※身に付けることで、一生ものの習慣が身に付きます						
	② 実施する場所 <input type="checkbox"/> 町民センター <input type="checkbox"/> 学校等						
	③ 実施期間 <input type="checkbox"/> 講座を聞き、体感することで、正しい姿勢を知り、呼吸法がわかり、心の安定につながり、アレルギー等の快方につながる。一度で体感できる者もいるが、週に1回程度を3ヶ月くらい、継続すると効果は高まる。						
	④ 課題の解決に向けて、どのような役割や協力体制が考えられますか？						
	<table border="1"> <tr> <td><行政></td> <td><町民></td> <td><その他></td> </tr> <tr> <td>○予算をつけていただく ○場所の提供</td> <td>○ZEN呼吸法の価値に気づき、講座を受講し体感し身に</td> <td>○知り合いの講師を紹介可能。「ZEN呼吸法」のアドバイザーの資格を自</td> </tr> </table>	<行政>	<町民>	<その他>	○予算をつけていただく ○場所の提供	○ZEN呼吸法の価値に気づき、講座を受講し体感し身に	○知り合いの講師を紹介可能。「ZEN呼吸法」のアドバイザーの資格を自
<行政>	<町民>	<その他>					
○予算をつけていただく ○場所の提供	○ZEN呼吸法の価値に気づき、講座を受講し体感し身に	○知り合いの講師を紹介可能。「ZEN呼吸法」のアドバイザーの資格を自					

		付ける。	らも取得予定です。
5 事業の効果・ 将来像	事業の実施によって、まちがどのように変化するか、どんな未来につながるのかを教えてください。		
	○姿勢を調べ、呼吸法を身に付けることで、心と体の健康を手に入れることができます。 ○笑顔のあふれる町になります。		

※補足資料（収支予算書、写真、他自治体の事例、パンフレットなど）があれば添付してください。

呼吸という自分で行っていると思いがちの行為ですが、実は、それは体に自動的に行ってもらっている行為です。当たり前過ぎて、その有り難さに気付けないこの生命活動は、生きる上で最も重要な生命活動です。

昨年度、ZEN 呼吸法の第一人者の椎名由紀先生に、美馬牛分館の講座を開催していただき、小学生からお年寄りまで約70名に、ZEN 呼吸法を体感していただきましたが、大変好評でした。小学生を主に行ったので、特別な講師料でやっていただきましたが、ぜひ、全町的にも広げたいと考えます。

椎名由紀先生をおよびして、ZEN呼吸法の講座を開くための必要経費

※人数にもよりますが、20人程度のグループの人数に対して

3時間のレッスンで、講師料20万円

宿泊費 20,000円

交通費 61,000円（東京～旭川の往復）

※海外での講座が増えている椎名先生です。フランス、イギリス等、世界各国からオファーがあり世界のあちこちで、人気が高まっています。

公共プロジェクト提案書（令和7年度予算事業）

令和 6年 月 日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住 所
氏 名
連絡先

みんなのまちづくり施策（公共プロジェクト部門）について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	町民会議の開催			
2 美瑛町共有ビジョンとの関連性	提案する事業は、どの「美瑛町共有ビジョン」を実現するものですか（複数選択可能） <input type="checkbox"/> 豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが自分の可能性をのばせるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが健康で共に支え合い、安心して住み続けられるまち <input type="checkbox"/> ライフラインが確保され、災害にまけない強さとしなやかさを備えるまち <input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち <input type="checkbox"/> 子どもの個性を育み、全力で応援するまち <input checked="" type="checkbox"/> すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち			
3 地域の課題／事業の目的	① どのような課題を解決する事業か、日々の困りごとの具体例やエピソードを交え記入してください <ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例で町民が町政の主役となっているが、町民自身に実感がない ・町の行政の意思決定過程が町民から見難い ・美瑛町の未来を町民で考える場がない ② 上記が「美瑛町の地域課題」であると感じられる理由は何ですか？ <ul style="list-style-type: none"> ・町の将来像を町民が考え、決め、行動できない事は、郷土愛の育成を阻害し町の荒廃につながる ・つまり自治体としての存続に関わる、重大な地域課題だと考える 			
4 事業の内容 （事業の対象者、実施期間、実施場所などできるだけ詳細に記入してください。）	① 事業の対象者（どこに住む、どんな世代の、誰に向けた事業ですか？） 町民全て ② 実施する場所 美丘 ③ 実施期間 <ul style="list-style-type: none"> ・100~300人の町民を美丘に集めて、町の今、未来について議論してもらう。 ・世代毎に無作為に抽出した人々に参加してもらう ・年1~2回 ・テーマはその時点で町が考える重要事項でも良いし、町民の持ち込みでも良い。 ・町長、役場職員、町議会議員はアドバイザーとして参加し、町民からの質問に答える 問題点 <ul style="list-style-type: none"> ・人数が多いため結論が出るまでに時間を要することが予想される。結論が出るのが理想だが、難しい場合は無理に結論を出さないように気をつける。町民の合意が最優先。 ・初めは人が集まらないかもしれないので、Be コイン 1,000 円贈呈等が必要かもしれない ・適切なテーマの選択、会議の進行に技術を要する ④ 課題の解決に向けて、どのような役割や協力体制が考えられますか？ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; text-align: center;"><行政></td> <td style="width:33%; text-align: center;"><町民></td> <td style="width:33%; text-align: center;"><その他></td> </tr> </table>	<行政>	<町民>	<その他>
<行政>	<町民>	<その他>		

	会の開催、町民の招集、情報の公開、会の決定に従った行政活動、結果報告	会への参加、事業発案、行政への協力・評価、自治の意識の涵養	町議会議員は政策作成で町民をサポートする
5 事業の効果・ 将来像	<p>事業の実施によって、まちがどのように変化するか、どんな未来につながるのかを教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本当の意味での町民による自治に近付けられるかもしれない。町民に決定権が与えられることで、町民の自己有用感が得られ、郷土愛につながる。積極的な町政への参加が増えることで、共助が進む。地域間での意見交換の場にもなるので町民に一体感が生れる。 ・ 町民からの事業の発案で、町民の希望が反映されることから、行政活動から無駄が減少する。役場職員は自分達の仕事の結果を町民と共に喜ぶことができ、達成感が得られる。首長の交代による町の将来像への影響が小さくなり、事業の無駄が省ける。 ・ 町議会議員に対する見方も変るので、議会の質も上がる。この会議での議論を経験することで、若い人が議員を目指してくれるかもしれない。当然そういう人は議員として町のために仕事をしてくれることが期待できる。 ・ 先進的な自治のモデルケースとしてメディアの注目を集める可能性もあり(?)、そうなれば町民が誇りを持てる。 ・ 住民満足度が高くなれば、移住者の増加も期待できる。 		

※補足資料（収支予算書、写真、他自治体の事例、パンフレットなど）があれば添付してください。

- ・ 「具体的な提案」のはずが、このフォーマットには事業内容を記載する場所が無いので、修正した方が良いと思います。今回は実施期間の欄に記載させて頂きました。
- ・ 公開あたり、連絡先以外は公開を希望します。

公共プロジェクト提案書（令和7年度予算事業）

令和 6 年 月 日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住 所
氏 名
連絡先

みんなのまちづくり施策（公共プロジェクト部門）について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	地域懇談会の開催	
2 美瑛町共有ビジョンとの関連性	提案する事業は、どの「美瑛町共有ビジョン」を実現するものですか（複数選択可能） <input type="checkbox"/> 豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが自分の可能性をのばせるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが健康で共に支え合い、安心して住み続けられるまち <input type="checkbox"/> ライフラインが確保され、災害にまけない強さとしなやかさを備えるまち <input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち <input type="checkbox"/> 子どもの個性を育み、全力で応援するまち <input checked="" type="checkbox"/> すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち	
3 地域の課題／事業の目的	① どのような課題を解決する事業か、日々の困りごとの具体例やエピソードを交え記入してください <ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例で町民が町政の主役となっているが、町民自身に実感がない ・町の行政と町民との距離が遠い ・町で行なっている事業の目的と結果が町民に分かり難い 	
	② 上記が「美瑛町の地域課題」であると感じられる理由は何ですか？ <ul style="list-style-type: none"> ・町民の考えを行政が認識していないことは町民の望まない事業につながる ・つまり自治体としての存続に関わる、重大な地域課題だと考える 	
4 事業の内容 （事業の対象者、実施期間、実施場所などできるだけ詳細に記入してください。）	① 事業の対象者（どこに住む、どんな世代の、誰に向けた事業ですか？） 町民全て	
	② 実施する場所 各行政区会館	
	③ 実施期間 <ul style="list-style-type: none"> ・役場職員（町議会議員を伴っても良い）が行政区会館に出向いて町民と対話する。 ・年1回、ないし2回 ・日々の困り事、町づくりへのアイデアなど町民の生の声を役場の職員が拾う ・町行政の現在進行形の事業、これからの事業について役場から説明、意見収集 ・（2年目から）前年に集めた意見の結果報告 	
	問題点 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な声が届くはずなので、その全てを実行できるわけではない。そのため優先順位を付けその理由を町民に説明する必要がでてくる。しかし、その理由は美瑛町の町づくりの方向性に合ったものではなく、説明によって町づくりについての町民の理解をすすむので、手間はかかるかもしれないが良い結果につながると思う。 	
	④ 課題の解決に向けて、どのような役割や協力体制が考えられますか？	
	<行政>	<町民>
		<その他>

	会の開催、町民の招集、情報の公開、会の決定に従った行政活動、結果報告	会への参加、事業発案、行政への協力・評価、自治の意識の涵養	町議会議員は政策作成で町民をサポートする
5 事業の効果・ 将来像	事業の実施によって、まちがどのように変化するか、どんな未来につながるのかを教えてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民、行政、議会が一堂に会することで町づくりに一体感が持てる ・ 積極的に行政へ働きかけられない人の意見も集められる可能性がある ・ 事業を考える頭の数が増えるので、これまでより新しいアイデアに基づく事業が生まれる ・ 住民満足度が高くなれば、移住者の増加も期待できる 		

※補足資料（収支予算書、写真、他自治体の事例、パンフレットなど）があれば添付してください。

- ・ 「具体的な提案」のはずが、このフォーマットには事業内容を記載する場所が無いので、修正した方が良いと思います。今回は実施期間の欄に記載させて頂きました。
- ・ 公開あたり、連絡先以外は公開を希望します。

公共プロジェクト提案書（令和7年度予算事業）

令和 6年 月 日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住 所
氏 名
連絡先

みんなのまちづくり施策（公共プロジェクト部門）について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	車いすでアクセスしやすい青い池のバリアフリー化							
2 美瑛町共有ビジョンとの関連性	提案する事業は、どの「美瑛町共有ビジョン」を実現するものですか（複数選択可能） <input type="checkbox"/> 豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが自分の可能性をのばせるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが健康で共に支え合い、安心して住み続けられるまち <input type="checkbox"/> ライフラインが確保され、災害にまけない強さとしなやかさを備えるまち <input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち <input type="checkbox"/> 子どもの個性を育み、全力で応援するまち <input checked="" type="checkbox"/> すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち							
3 地域の課題／事業の目的	① どのような課題を解決する事業か、日々の困りごとの具体例やエピソードを交え記入してください ◆車いす介助や杖歩行の人が青い池の売店に行くスロープを安全に楽に移動できるよう改造する ① スロープの両側に歩行者用手摺を設置 ②スロープの途中 2-3 か所に休憩所を設置（車いす用の平坦部、杖歩行者のためのベンチ） ③車いす、杖歩行者にむけた案内板 ◆売店の先の遊歩道に降りるいまの階段のエリアに、車いすや杖で遊歩道に安全に降りられるスロープを設置する ①歩行者用手摺付きスロープ ②いまの階段の変更 ③池への落下防止柵の改造 ◆ <u>困りごとの詳細</u> ② 上記が「美瑛町の地域課題」であると感じられる理由は何ですか？ 車いすの町民や観光客が、全国的に知られた青い池を皆と同じ視線で体験できれば素晴らしい。旭川大雪圏の Universal MaaS 一般公開実証実験 は駐車場まで、その先は美瑛町の課題となります。							
4 事業の内容 （事業の対象者、実施期間、実施場所などできるだけ詳細に記入してください。）	① 事業の対象者（どこに住む、どんな世代の、誰に向けた事業ですか？） 美瑛町に住むひと及び美瑛町を訪れる観光客のうち、車いすの介助あるいは杖歩行が必要なひと。施設に住むお年寄りの外出バスツアーの新たな目的地として（現状は聖台ダムなど）。 ② 実施する場所 ◆青い池の売店に行くスロープ（改造） ◆売店の先の遊歩道に降りる階段の周囲（改造） ◆車いすや杖歩行のひとが青い池を楽しむための案内看板（新規） ③ 実施期間 要検討 ④ 課題の解決に向けて、どのような役割や協力体制が考えられますか？ <table border="1"> <thead> <tr> <th><行政></th> <th><町民></th> <th><その他></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関連部署</td> <td>車いすや介助者、および杖歩行の町民による実証実験</td> <td>町内福祉施設の関係者</td> </tr> </tbody> </table>		<行政>	<町民>	<その他>	関連部署	車いすや介助者、および杖歩行の町民による実証実験	町内福祉施設の関係者
<行政>	<町民>	<その他>						
関連部署	車いすや介助者、および杖歩行の町民による実証実験	町内福祉施設の関係者						
5 事業の効果・将来像	事業の実施によって、まちがどのように変化するか、どんな未来につながるのかを教えてください。 ◆青い池と計画中の中心市街地活性化事業のバリアフリー構想と併せて、多様性を尊重した自治体、あるいは人に優しい観光目的地としてのネームバリューの高まりが期待できる。							

※補足資料（収支予算書、写真、他自治体の事例、パンフレットなど）があれば添付してください。

補足資料（車いすでアクセスしやすい青い池のバリアフリー化）

◆青い池の売店に行くスロープ（改造）

（現状）車いすや杖歩行の人、高齢者が途中で休むところがない。歩行者用の手摺がない。

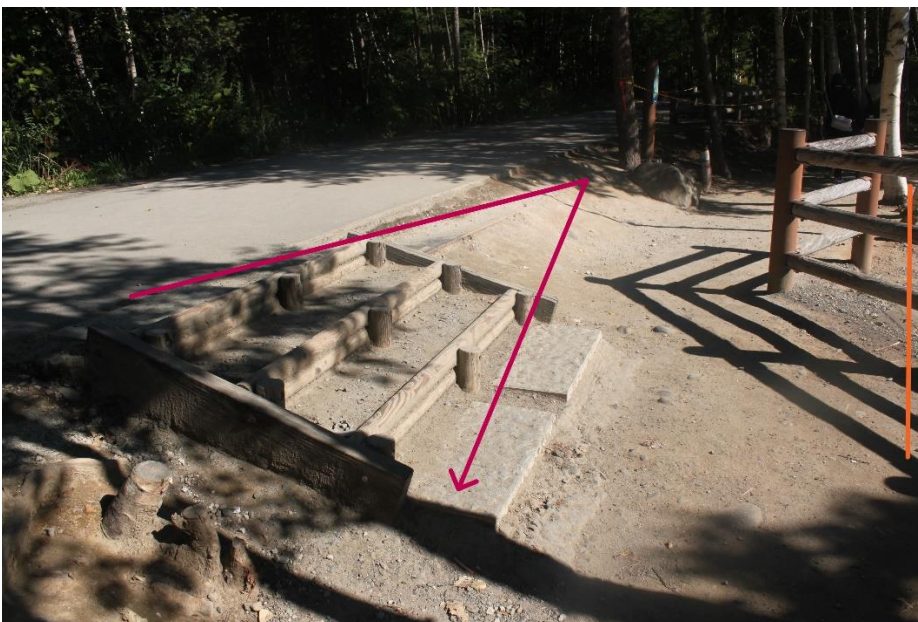
（改善点）写真の赤線は左右の手摺、右側黄色の口は2か所の平たんな休憩所とベンチ。左手前に障がい者や高齢者向けの案内の看板がある。



◆売店の先の遊歩道に降りる階段の周囲（改造）

（現状）杖歩行や高齢者のための手摺がない。車いすは無理に降りると坂の傾斜が危険。

（改善点）赤色は車いすと杖歩行、高齢者に配慮した左右手摺付きのスロープ（V字部分に平坦部あり）、右側オレンジ色は車いす目線から池が見えるように配慮した、細めの材料の保護柵。適切な場所に障がい者高齢者向けの案内の看板がある。



◆車いすや杖歩行のひとが青い池を楽しむための案内看板（新規）

（現状）青い池が、駐車場以外に障がい者や高齢者への配慮があるかどうかわからない。

（改善点）すべてとは言わないまでも、障がい者や弱者にここまで配慮したという説明文があれば訪れたひとに伝わるし、美瑛町のおもてなしのアピールにもなる。 以上

公共プロジェクト提案書（令和7年度予算事業）

令和 6年 月 日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住 所

氏 名

連絡先

みんなのまちづくり施策（公共プロジェクト部門）について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	障がい者が参加した公共施設等のバリアフリー検証		
2 美瑛町共有ビジョンとの関連性	提案する事業は、どの「美瑛町共有ビジョン」を実現するものですか（複数選択可能） <input type="checkbox"/> 豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが自分の可能性をのばせるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが健康で共に支え合い、安心して住み続けられるまち <input type="checkbox"/> ライフラインが確保され、災害にまけない強さとしなやかさを備えるまち <input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち <input type="checkbox"/> 子どもの個性を育み、全力で応援するまち <input checked="" type="checkbox"/> すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち		
3 地域の課題／事業の目的	① どのような課題を解決する事業か、日々の困りごとの具体例やエピソードを交え記入してください ◆バリアフリーで設計施行した既存の公共施設や道路が、障がい者や介助者および高齢者からみて使い勝手や安全面で不備があります。町民提案で改善していただいたこともあります設計上の限界があります。◆改善ステップとして、①障がい者や家族および福祉関係者からなる委員会をつくって②現状の公共施設等のバリアフリー検証を行いあるべき基準を提案し③計画中の中心市街地活性化事業の基本設計に反映していただけると助かります。 ② 上記が「美瑛町の地域課題」であると感じられる理由は何ですか？ 理由①高齢者比率が高まり、障がい者の社会参加の潜在的なニーズもあると思われます。②バリアフリーは中心市街地活性化事業のテーマにもなっています。③自治条例の「多様性の尊重の原則」の実践に適しています。		
4 事業の内容 （事業の対象者、実施期間、実施場所などできるだけ詳細に記入してください。）	① 事業の対象者（どこに住む、どんな世代の、誰に向けた事業ですか？） 美瑛町に住むひと及び美瑛町を訪れる観光客のうち、車いすの介助あるいは杖歩行が必要なひと。		
	② 実施する場所 ◆既存の公共施設と主要な町道の検証 ◆今後新設する公共施設等（青い池、公園を含む）		
	③ 実施期間 要検討		
	④ 課題の解決に向けて、どのような役割や協力体制が考えられますか？		
	<行政> 関連部署と関連団体	<町民> 障がい者や家族の介護者が委員会や検証作業に参加	<その他>
5 事業の効果・将来像	事業の実施によって、まちがどのように変化するか、どんな未来につながるのかを教えてください。 ◆期待効果：障がい者の社会参加、多様性を尊重した自治体、あるいは人に優しい観光地としての魅力が高まる 参考：旭川市バリアフリー基本構想における冬期・夏期フィールドチェック事業		

※補足資料（収支予算書、写真、他自治体の事例、パンフレットなど）があれば添付してください。